

外科

Department of surgery



医師紹介

当院に受診された患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、最新の高度医療の提供に専念しております。

消化器外科・一般外科におきましては、多数の症例を最新の機器(オリンパス社製full high vision 3D腹腔鏡)などを用いまして、安全に腹腔鏡手術を行っております。

消化器がん疾患は、食道から胃、小腸、大腸、直腸、肝・胆・膵のがんを診断治療します。消化器内科と連携し、診断から治療まで、ガイドラインにのっとり、できるだけ患者さんに侵襲の少ない、腹腔鏡手術などの治療法を提供しております。

また、最新の化学療法(抗がん剤治療)を積極的に取り入れ、ガイドラインに準じた治療を、専用の化学療法室で行っています。その他にも、当院では最新の放射線治療センターを併設し、放射線治療を受けることも可能です。当院は、大阪府がん診療拠点病院に指定されており、包括的ながん支援体制を整えております。



理事長 佐藤 真杉

《学歴》
●京都大(昭和38年卒)



院長 河合 泰博

《学歴》
●京都大(平成元年卒)
《資格等》
●医学博士
●日本外科学会専門医
●日本消化器外科学会認定医
●検診マンモグラフィ読影認定医(A判定)
●シオン注講習会修了
●臨床研修指導医
●緩和ケア研修会修了
●がん治療認定医
●ICD(感染症対策専門医)



副院長 五味 隆

《学歴》
●京都大(昭和62年卒)

《資格等》
●日本外科学会専門医
●緩和ケア研修会修了



部長 奥村 憲二

《学歴》
●慈恵医大(平成10年卒)
《資格等》
●医学博士
●日本外科学会認定医・専門医・指導医
●日本消化器外科学会専門医・指導医
●日本がん治療認定医機構がん治療認定医
●消化器がん外科治療認定医
●シオン注講習会修了
●緩和ケア研修会修了



部長 池田 房夫

《学歴》
●京都大(平成4年卒)
《資格等》
●日本外科学会専門医
●緩和ケア研修会修了

胃がん

可能な限り上部消化管内視鏡(胃カメラ)を用いた内視鏡的粘膜切除術を行い、手術が必要であれば、再建までを腹腔鏡でおこなう完全腹腔鏡下胃切除術・胃全摘術を行っております。大変創が小さくてすみ、最大の臓器を取り出すための腹部の創でも約4cm程度となります。また、進行がんの場合でも、術前の化学療法でできるだけがんを小さくして、腹腔鏡で手術を行えるよう努めています。



食道がん

胃がんと同様に上部消化管内視鏡(胃カメラ)を用いた内視鏡的切除から、胸腔鏡・腹腔鏡を用いた食道切除までを行っております。創の大きさは、胸部で5mmから12mmの穴が、5か所ほどです。胸腔鏡、腹腔鏡のメリットとしては、臓器を拡大して観察できるので、神経の温存がしやすく、以前より肺の合併症が圧倒的に減少しました。術後疼痛も少なく患者さんに喜ばれております。また、病期によっては、放射線治療と化学療法で、治療を行います。



肝・胆・膵がん

肝胆膵領域がんでは、ガイドラインに基づき可能な限り根治手術をめざしておりますが、根治手術不能症例であっても、バイパス手術、ステント留置などを行いつつ、化学療法、放射線治療を併用した集学的治療が可能となっています。肝がんについては、開腹手術はもとより、腹腔鏡手術、ラジオ波焼灼法、適応があれば放射線治療についても積極的に行っております。

大腸、直腸がん

できるだけ腹腔鏡手術でおこなっており、臍部と他3~4か所の小さな創で切除可能です。直腸がんでは永久的な人工肛門をできるだけ回避し、自然肛門を温存する努力をしています。

ご利用案内・お問合せ

がん相談支援センター(1階 正面玄関横)

患者さん、ご家族、地域の方々、どなたでも無料でご利用できます。ご相談のご予約も承ります。

お電話での
ご相談・お問合せ

072-850-8711(代)
がん相談支援センターへとお申し出ください

受付時間

平日/9:00~17:00
土曜/9:00~12:00

詳しくはこちらまで

美杉会

検索



地域医療連携室

地域の医療機関とのスムーズな連携に努めています

お電話・FAXでの
ご相談・お問合せ

専用FAX...072-809-5771
直通電話...072-809-5770

受付時間

平日/9:00~20:00
土曜/9:00~12:00

代表電話 072-850-8711(時間外)

お急ぎでない診療予約は時間外でもFAXでお受けいたします。ご返信は受付時間内になります。